



学校図書館だより

11月号

令和2年11月
柏市立富勢中学校
柏市学校図書館指導員
岩瀬 瞳

秋がぐっと深まり、朝晩の冷え込みは冬の足音を感じさせます。けれど、晴れた秋の空は青く、高く、いろいろなことに気持ちよく取り組めそうです。3年生は合唱祭がありますね。歌うことも読むことも、一人一人の内側で深く豊かな世界を紡いでいくのではないのでしょうか。「わたくしは、これらのちいさなものがたりの幾きれかが、おしまい、あなたのすきとおったほんとうのたべものになることを、どんなにねがうかわかりません。」といった宮澤賢治の思いと重なります。聞こえてくるみなさんの美しい歌声のように、図書館も日々精進していきたいと思います。

市内中学生ビブリオバトル (知的書評合戦) 開催!

10月28日(水)に柏市立図書館主催の「市内中学生ビブリオバトル(知的書評合戦)」の決勝大会がオンラインで行われました。事前のブロック予選を勝ち抜いた生徒による決勝大会で、それぞれお気に入りの本を読んで感じたことや考えたことなどを伝え合いました。

富勢中からは3年3組のドドビバ ヴィヴィエンさんがエントリー!見事予選を勝ち抜き、決勝大会へと進みました。紹介してくれた本は『カンガルー日和』(村上春樹 講談社)。富勢中の図書館には所蔵されていなかったもので準備中です。貸出できる状態になったらお知らせしますので、皆さんもぜひ手にとってみてください。

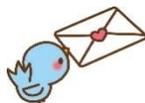
「市内中学生ビブリオバトル」でチャンプ本・準チャンプ本に選ばれたのはこちらの2冊です。

チャンプ本 『カーネーション』 いたうみく著 くもん出版

準チャンプ本 『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』 汐見夏衛 著 スターツ出版

同じ中学生が勧める本に興味を持つ人も多いのではないのでしょうか。こうしたことをきっかけに読む本の世界が広がるのも楽しいですね。こちらも図書館で現在準備中ですので、お待ち下さい。

今月のおすすめ



テーマは「手紙」(11月26日は「ペンの日」です。)

『ツバキ文具店』

小川 糸 著 / 幻冬舎 <913オガ>

伝えられなかった大切な人への想い。あなたに代わって、お届けします。ラブレター、絶縁状、天国からの手紙…。鎌倉で代書屋を営む鳩子の元に、今日も風変りな依頼が舞い込みます。

『手紙』

東野 圭吾 著 / 文春文庫 <913ヒガ>

直貴のもとには、強盗殺人事件をおこして刑務所にいる兄から、月に一度、手紙が届く。進学、恋愛、就職と、直貴が幸せをつかもうとするたびに「強盗殺人犯の弟」という運命が立ちはだかる。人の絆とは?差別とは?

『ころ』

夏目 漱石 著 / 新潮文庫 <913ナツ>

学生である「私」は、鎌倉で出会った不思議な男性を「先生」と呼んで交流を重ねていく。あるとき、彼から届いた一通の手紙には、彼の人生をとらえて離さない悲しい出来事がつづられていた。恋か、それとも友情か…。

『友情』

武者小路 実篤 著 / 新潮社 <913ムシ>

現代にも通じる友情と恋愛の物語。友人の妹に恋をした男、野島は、彼女に夢中になり妄想ばかりしている。親友の大宮が応援してくれるが、野島の片思いは、大宮からの手紙で意外な結末を迎えることになる。

2020年新着図書紹介《0類・1類》



- 『図書委員アイデアブック「やってみたい」が大集合！』アイデアいっぱい！やってみたいことが見つかるかも。
- 『知識を操る超読書術』メンタリストDaiGo DaiGoがすすめる本の読み方。こんな方法もあるんですね。
- 『朝日ジュニア学習年鑑2020』様々な分野のデータや資料が載った調べものの強い味方！時事的な話題も掲載！
- 『みんなの論語塾』論語の面白さをわかりやすく伝えてくれます。
- 『心を育てることも論語塾』論語の言葉がわかりやすく掲載されています。お気に入りの言葉が見つかるかも！
- 『見るだけで勝手に記憶力がよくなるドリル1, 2』池田義博 頭の体操！やりだすととまらない？！
- 『子どもの心はどう育つのか』佐々木正美 子どもの心の成長とは何か。「生きづらさ」の本質とは何か。
- 『泣いている子どもにイライラするのはずっと「あなた」が泣きたかったから』福田花奈江 実は大人も苦しかったんです。
- 『生きるための「正義」を考える本 どんどん悩もう。人生の問題に、たいてい正解なんてないんだから』
物事にはいろいろな見方・考え方がある。他者の意見や立場を想像しながら、自分の考えを磨く練習をしよう！
- 『きみを変える50の名言 イチロー、樹木希林ほか』スポーツ・芸能の世界で生きる人たちからの言葉の贈りもの
- 『きみを変える50の名言 谷川俊太郎、フジコ・ヘミングほか』文学や芸術、クリエイティブな言葉の数々！
- 『きみを変える50の名言 山中伸弥、さかなクンほか』
科学者や冒険・起業家、新しいことを発見してきた人たちの原動力となってきた言葉たち。
- 『泣いたあとは、新しい靴をはこう。－10代のどうでもよくない悩みに作家が言葉で向き合ってみた』
十代の真剣な悩みに言葉のプロが向き合って紡がれる言葉。納得できてもできなくても、その言葉は君の新しい力になる。
- 『世界を変えるための50の小さな革命（イタリアからの挑戦状）』
革命って何？怖いこと？いいえ、自分たちがこれからどういう世界で生きていきたいのか、どんな未来を想像するのか、
そのために今できる一歩を踏み出すことです。

2020年11月のアニバーサリー

・アルフレート・ヴェーグナー 生誕140年（1880年11月1日 地球物理学者）

大西洋を挟んで両側にある北・南アメリカ大陸とヨーロッパ・アフリカ大陸の海岸線の形が似ていると気づいたのが、大陸移動説のアイデアの元となったと言われています。地殻変動やプレート・テクトニクスなど今日の地球科学の考えはヴェーグナーなしには語ることはできませんが、当時彼の考えは全く受け入れられませんでした。ヴェーグナーは大陸移動説を完成するために、あらゆる分野の研究に立ち向かい、自然現象や地球の地質を探求し続けました。

・石田三成 没後420年（1600年11月6日 武将）

豊臣秀吉に忠義を尽くした石田三成は、天下分け目の関ヶ原の戦いで家康率いる東軍に敗れ、六条河原で処刑されました。徳川の世となり、豊臣からの政権篡奪を正当化するために悪評を流されたと言われる三成ですが、「三献の茶」のエピソードや『太閤記』に「三成は諫に付ては、我が気色取らず。諸事有る姿を好みし者なり（三成は私（秀吉）に対してすら諫事することを憚ることなく、しかも規律を重視するところがとても気に入った）。」と記されるように真面目で真っ直ぐな人柄だったようです。

・オーギュスト・ロダン 生誕180年（1840年11月12日 彫刻家）

フランスの彫刻家。近代彫刻の開拓者とも言われるロダンですが、その生命力あふれる作品があまりにも躍動的で、「実際に人体から型を取ったのではないか」疑われるほどでした。ダンテの「神曲」の地獄変をモチーフとした「地獄の門」は未完成のままでしたが、その制作の過程で有名な「考える人」などの作品が生まれました。

・クロード・モネ 生誕180年（1840年11月14日 画家）

彫刻家ロダンと印象派の画家モネは同時代人。すでに彫刻家として名を知られていたロダンと開いた二人展がモネの評価を決定的にしたと言われています。

・三島由紀夫 没後50年（1970年11月25日 作家）

昭和の作家・劇作家として戦後の日本文学を代表する一人。海外でも広く認められた作家。三島由紀夫の美しい修辞表現の背景には幼いころの愛読書の一つが辞書だったことも影響しているとか。

切り取り

図書購入希望リクエスト用紙

本のタイトル

著者

出版社

年 組 氏名

（記入したらクラスの図書委員に渡すか図書館にあるリクエストボックスに入れて下さい。）

購入希望図書のリクエストはありませんか？選書や予算の都合上、すべてのリクエストにお応えすることはできませんが、ぜひリクエストをお寄せ下さい。

